

# 2017年度

派遣留学ロシアコース

実習先：ウラジオストク

実習期間：8月29日～12月28日

新潟国際情報大学  
国際学部国際文化学科  
21016030  
金子 陽風

## 目次

- 1 留学先および期間
  - 2 留学先概要（派遣先大学、学部、コースの概要）
  - 3 留学の目的
  - 4 留学内容のスケジュールと履修コース・留学の詳細
  - 5 当初の目的および目標への到達度に対する自己評価、派遣によって得られたこと
  - 6 反省・課題
- 謝辞

## 付録

授業の詳細な記録

## 1 留学先および期間

留学先：ウラジオストク国立経済大学

期間：8月29日～12月28日

## 2 留学先概要

ウラジオストク国立経済大学は1967年に市内の中心部に設立された。8つの学部を擁し、学生数は1万5千人を超える。学士課程は4年間であり、法科大学院、修士課程、博士課程に進学し、さらにレベルの高い教育を受けることが出来る。

学内には複合スポーツ施設や、芸術スタジオシアターなどが備えられている。この大学の学生寮には、ロシア国内外の学生が居住している。

ウラジオストク国立経済大学は、ウラジオストクにおける最高水準の教育機関の一つである。さらにロシア教育省からいくつもの賞を受けている。ロシアサービス業の専門家を養成する大学の格付けでは全国1位である。

## 3 留学の目的

この留学の目的は実践的なロシア語の習得と、ロシアの文化を学ぶことである。

語学を習得するには日本の大学で授業を受けるだけでは不十分だと感じ、ロシア語を聞く機会や話す機会が格段に多い現地での学習がよいと考えた。

さらに文化や、実際の生活、芸術なども日本では体験することは難しく、これも現地に行って学ぶことがよいと考えた。

## 4 留学内容のスケジュールと履修コース・留学の詳細

### 4-1 留学内容のスケジュール

月	日	午前	午後
8	29 (火)	出発	現地到着
9	4 (月)	クラス分けテスト	
9	5 (火)	授業開始	

9	9 (土)		映画祭
9	24 (日)	トラ祭り	
10	6 (金)	授業	動物園
10	15 (日)		バレエ鑑賞
12	1 (金)	授業	ボルシチ作り
12	14 (木)	スケート	
12	15 (金)	授業	バレエ鑑賞
12	28 (木)	帰国	

#### 4-2 留学の詳細

(1) 授業については付録に記す。

(2) クラス分けテスト

日本人留学生と韓国人留学生が合同で同じ問題を解きその結果を基に二つのクラスに割り振られる。

(3) 映画祭

学校からバスで10分ほどの劇場で多くの人が集まり、俳優がレッドカーペットを歩く姿やインタビューに答える姿をみた。



#### (4) トラ祭り

ウラジオストクのシンボルであるトラの保護を目的としたお祭りである。市内中心部に大勢の人が集まり行進した。

#### (5) 動物園

バスで片道2時間ほどの大きな動物園にスヴェトラナ先生と中国人留学生と一緒にいき動物を間近でみた。



(6) バレエ鑑賞

韓国人留学生と一緒に近くの劇場まで行き、バレエを鑑賞した。

(7) ボルシチ作り

スヴェトラナ先生から作り方を教わり、NUISの学生でボルシチや、ロシアのパンケーキ、サラダなどを作ってみんなで食べた。

(8) スケート

韓国人留学生と先生とスキー場に行き、スキー、スケート、チュービングなど好きなものを選んで遊んだ。

(9) バレエ鑑賞

劇場で「白鳥の湖」を鑑賞した。



## 5 当初の目的および目標への到達度に対する自己評価、派遣によって得られたこと

### (1) 語学力について

留学前に比べて確実に、聞き取り、会話、読解、など全てにおいて力は底上げできた。

具体的には、読解、聞き取りについては留学前よりも格段に力がついたように感じる。授業で言っていることやお店の人が言っていることは大体が理解できるまでになった。

読解についても単語量が増えたことや新しい表現を習ったことにより留学前には読んだことも無かった長文を読むことができるようになった。会話についても以前に比べれば力は付いたと言える。以前は自分の意見をロシア語でいうことはできなかったが、短い文章をいくつか繋げてなんとか伝えることができるようになった。

授業が始まって一番最初に感じたことは、語彙力が圧倒的に少なかったということ。留学前には授業で出てきた単語以外、自主的に単語の勉強をしなかったため最初は授業で出てくる単語の意味がほとんど分からずに苦勞した。留学前に、文法の勉強や長文読解を自力でやるのは難しいが、単語の暗記なら自力で出来ることなので最低限これだけはやっておくべきだったと感じた。そうすれば留学中単語を調べる以外のことに時間を使ってもっと力がついたのではな

いかと思う。

## (2) 文化や実際の生活を知る

NUIS の学生は、「音楽」、「美術」、「歴史」、「地理」などの発展的な授業もあった為、伝統的な音楽、楽器、芸術、ロシアの歴史や地理についても沢山勉強した。特に、歴史や地理はとても難しい教科だったがこれらの授業があったおかげで詳しく知ることができた。さらに、先生方がバレエ鑑賞やいくつかのお祭りに連れて行ってくださったり、ロシアの伝統料理を一緒につくる機会を設けてくださったおかげで日本では経験できないことが経験できたり、ロシアでの生活がどのようなものなのかを理解することができた。

## 6 反省・課題

5でも記した通り、留学前の自主学習が不十分だったことを痛感した。

しかしウラジオストクでの4ヶ月はとても充実した素晴らしい生活だった。ロシア語はとても難しい言語だということを改めて感じたので、ウラジオストクで学んだことを活かして今後もロシア語の勉強を継続していきたい。

## 謝辞

この度、ウラジオストク国立経済大学にてロシア語の授業をして下さり、懇切丁寧にご指導して下さった先生方、ウラジオストクでの4ヶ月間の生活を日々サポートして下さったユリヤ先生、スヴェトラナ先生、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、留学前のロシア語の授業、事前研修、帰国後の活動などご指導をして下さった、神長英輔先生、アレクサンドル・プラーソル先生に深く感謝申し上げます。最後に、新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本留学が実現し、貴重な体験をさせていただけたことを心より感謝申し上げます。

## 付録

### 授業の詳細な記録

1 週間の時間割は以下の通りである。

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 限 8:30~10:00	文法	会話	聞き取り	読解	聞き取り
2 限 10:10~11:40	口語	読解	口語	文法	文法
3 限 11:50~13:20					
4 限 13:30~15:00	美術	音楽	歴史	地理	

4ヶ月間受けていた9種類の授業の詳細を以下に記す。

#### (1) 文法

文法の授業は週に3回。問題集のようなテキストを用いてロシア語の文法を学ぶ。この授業は各変化のテストを頻繁に行っていた。ロシア語の文法はとても難しかったが、小テストがあったり、先生が授業の初めに毎回丁寧に復習をしてくださったので理解が深まった。

#### (2) 口語

口語の授業は週に2回。テキストを用いて実践的なロシア語の表現などを学ぶ。会話の授業と似ている。

### (3) 会話

実際に日常生活で使えるような表現や会話を学ぶ。具体的には、買い物、電話などのシチュエーションの会話を勉強した。

### (4) 読解

少し笑えるような物語を読んで問題に答えたり、長文をひとりひとり読んで正しいアクセントなども習った。時々単語テストもあった。

### (5) 聞き取り

流れてくるロシア語を聞き取り、それを書き取る授業。

### (6) 美術

ロシアの伝統的な人形を作ったり、絵を書いたり、クリスマスの時期には小さなクリスマスツリーを作ったりした。

### (7) 音楽

ロシアの伝統的な楽器や歌を習った。沢山の歌を覚えた。

### (8) 歴史

ロシアの歴史を学んだ。実際にウラジオストク市内の公園や中心地に行って歴史を教わることもあった。

### (9) 地理

極東ロシアの地形、気候、動物、などなど他にも沢山のことを勉強した。



